

メ
グ
リ
メ
グ
ル。



東方プロジェクトファンブック
本書は十八歳未満の購入を禁じます

For Adult Only

かれこれ何日
経っただろうか

ここは迷いの竹林と
村の人たちから
呼ばれている

時折たちこめる
深い霧

獐猛な獣
危険な妖怪

ここに迷い込んで
生きて帰った例は
—あまりない

よっ、と

ふうっ

一面
竹、竹、竹…

こりや
普通なら

どこ歩いてるか
分からねえな

俺が数日……いや、
一ヶ月くらい前だったか？
出逢ったうさぎ耳の少女
彼女の名は因幡てゐという

偶然この竹林に
迷い込んでしまった俺は
初め途方に暮れて
この先どうするべきか
右往左往していた

しかし俺は彼女と会うことにより
その幸運を授かって
なんとか命を繋ぐことができた
—もし彼女に会えなかつたら
そう思うと背筋がぞつとする

馬鹿なこと
してるよなあ
俺……

目を閉じると
暗闇と一緒に

ほんの僅かな
後悔が頭に広がる

「わたしに会えたなんて
あんたは運がいいね」
「その幸運
大切にしようさいな」

そうやって
彼女は姿を消した

普通ならそのまま
この竹林を通り抜けようと
するだろう
——けど、俺は違った

彼女に
惚れてしまった
のだ

たったの
一目で。

それから俺は
あろうことか
手に入れた幸運を

彼女ともう一度
会うことに使って
しまった

ほどなくして再会した時、
彼女は少し驚き
うつぶきながら
「馬鹿ねえ……」
と小さな声を出した

それから
俺は

何度も

何度も

授けられた
幸運を

彼女と会うことに
ばかり使い続けて——

——今に至る。





あの×の字が入った竹が見えたら

よつと

彼女との待ち合わせ場所はすぐだ

今日こそは



—でも今日は、

まったくてゐの言うとおりの

馬鹿やってるよなあ……俺



ぼつんと鎮座する岩

その上にいつも座って待っている彼女に



こっちゃんっちゃんー
おーやっほーい
今日も来たねー



伝えたいことが、ある

あの、さ

ん？

ずっとずっと言えなかつたんだけど



本当はもう
ずっと前から
言いたかった

驚かないで、
聞いて欲しい……

俺――

特等席っ

ちゅん

まっ



も
っ?!

んん――!



な、
ななな何を
言ってるのっ

だ、第一まだ
せ…接吻すら
してないじゃないの

そんな急に
話をされて――



てめ、君と
子作りがしたい!

!

すま



うわっ！
いくら何でも
急すぎたよ

馬鹿っ

いめを
いうるよ
いつ！

バカ！

ばか

馬鹿あ！



ふあっ



俺をのしる
彼女の頬は
赤く上気していた

バカ！
へんたい！

あんまりにも
急すぎるじゃない！

こんなの……

こんなの わたしは
望んでなかったー

そして
涙目のまま
発せられる
拒絶の
言葉。



てる……？

そう！
わたしだって

いつ
言おうか

ずっとずっと悩んで

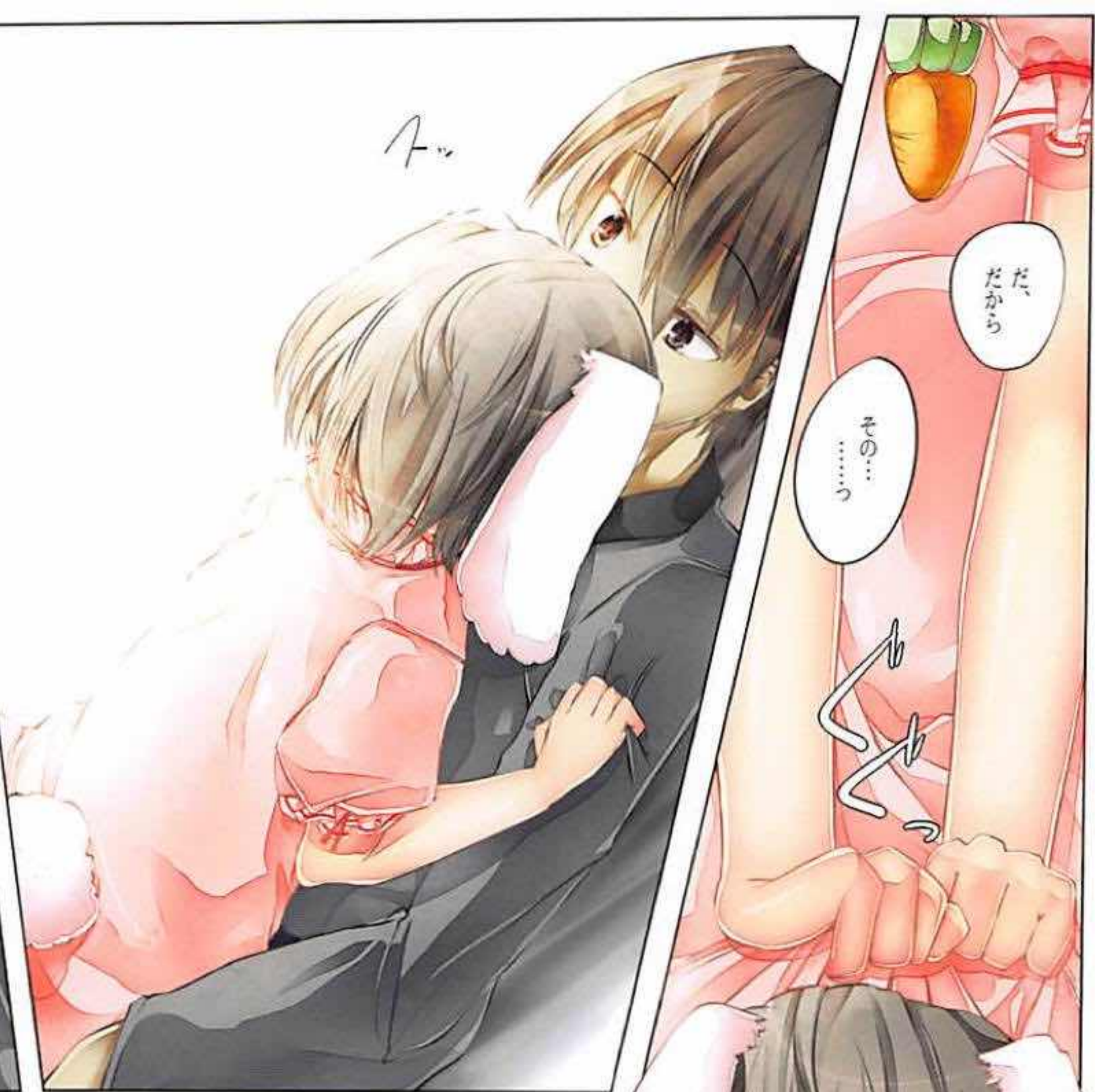
きつかけを考えていたのに
台無しになっちゃった
じゃないの！



こんなんじゃ
せつかく考えた
段取りも、

……の？
拒絶

雰囲気も
っ！



それじゃその上に横になって……

じゃいんち……

んっ

う、うん

うう……
恥ずかしすぎて頭がおかしくなりそうだよ……

はっ……んっ！

んんっん——っ！

さ、さつきから

胸ばかり

だって

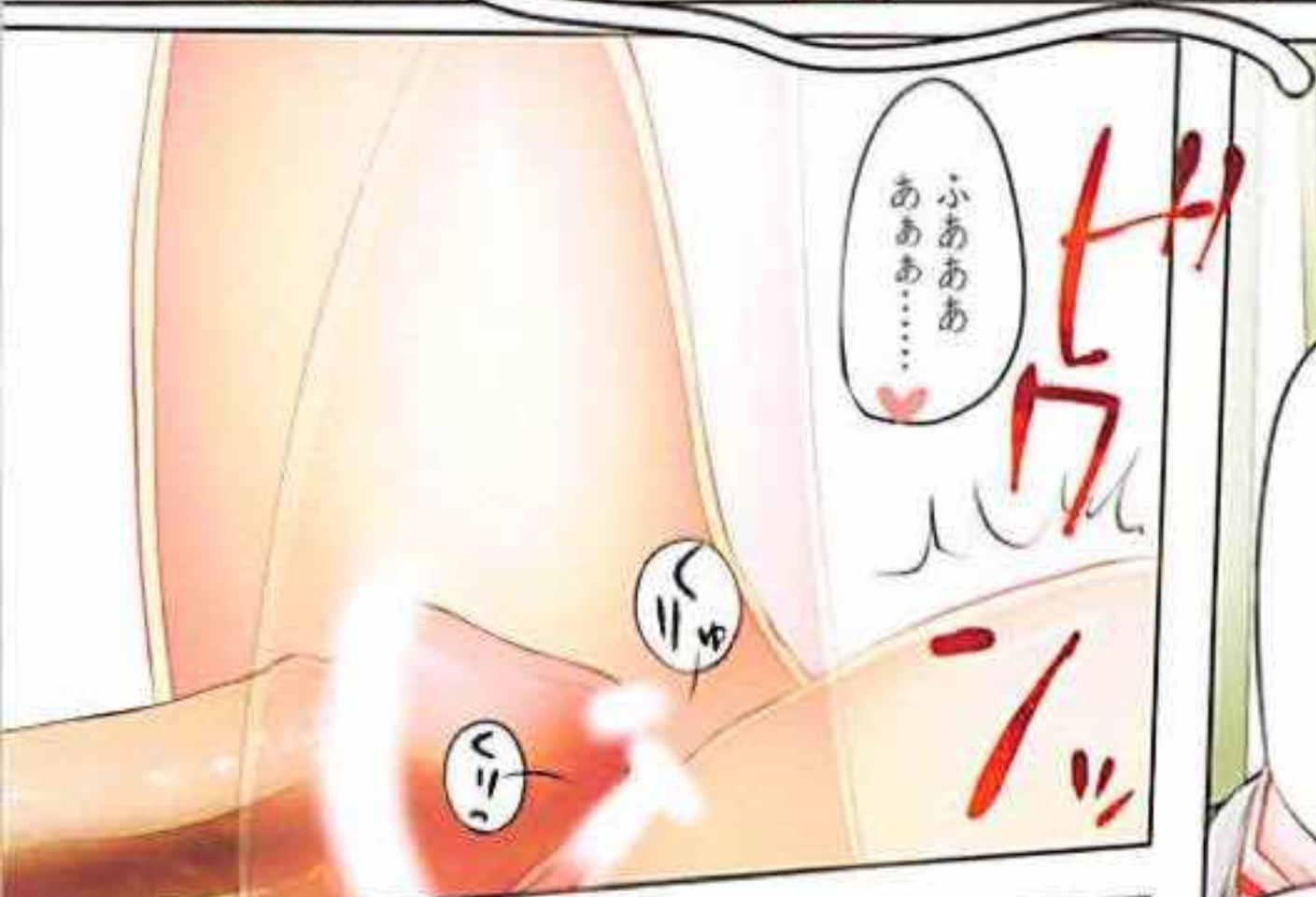
てるの子供

おっぱい

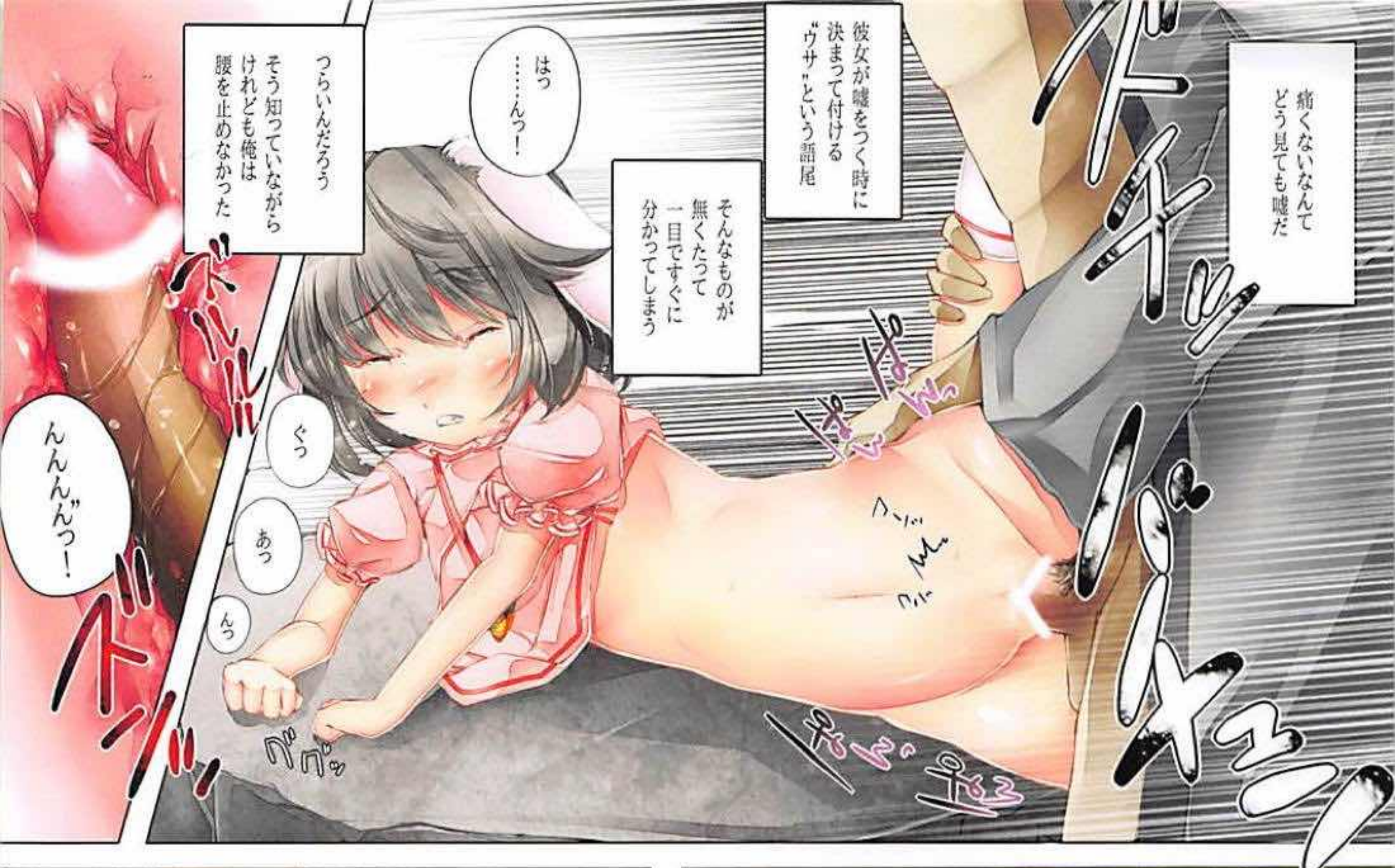
すげえおいしいんだもん

……
変態っ









痛くないなんて
どう見ても嘘だ

彼女が嘘をつく時に
決まって付ける
「ウサ」という語尾

そんなものが
無くたって
一目ですぐに
分かってしまう

つらいんだろう
そう知っていながら
けれども俺は
腰を止めなかった

はっ
……んっ!

んんんっ!

ぐっ
あっ
んっ



彼女の意思を尊重
したいから——
なんてのは体の良い
言い訳だ

俺の体が
彼女の身体を
欲している

そして欲求に任せて
彼女の身体を蹂躪している
——ただ、それだけだ

俺の安い理性で
抑えるには
彼女の中はあまりに
快感で満ちすぎていた

あ……っ
んっ
ぐっ

ふあっ
きたあ



ひっ
……んうっ

はっ
……んうっ
……んうっ
……んうっ



ハアッ

ハッ
んんんっ!

んんんっ!



東方 Project Fanbook
『メグリ、メグル。』

■後書き

しろくろうさのスキユウです。
この度は当サークルの本を手にとって頂き誠にありがとうございます。

ピロートークまで描く気力がありませんでした orz
作業時間の配分ミスです。唐突な終わりになってしまい申し訳ありません。

せっかく漫画描いてるのにいつも“やってお終い”な流れで終わってしまっていたので、
今回は多少ですがストーリーを感じられるような作りにしてみました。……したつもりです。
おかげでエロがとても薄くなってしまいましたが。
タイトルも意味不明なものになってしまったなあ……。
あと 4p 増やせる体力と気力を手に入れたい。

次回参加は受かっていれば夏コミ (C82) です。
落ちてたら紅樓夢かな!
フランちゃん本で登録してあります。
ストーリーとエロを両立させるのが目標!がんばるぞー!

あまり長々と語ってもアレですので、このあたりでメさせて頂きます。
やはりてゐちゃんは即レイp……いや、なんでもない。

■奥付

原作：上海アリス弦楽団 様

発行日：2012/05/27

発行：しろくろうさ

責任：スキユウ

連絡先：yuu_819_as@hotmail.com

印刷：プリントネット 様

ブログ：<http://shirokurousa.blog.fc2.com/>

piviv：<http://www.pixiv.net/member.php?id=97799>

※本誌は成人向け作品のため 18 歳未満の閲覧を禁じます



The background features a detailed anime-style illustration. In the upper left, a character with long, dark brown hair and a single prominent red eye is shown. Below and to the right, another character with light skin and a small red mark on their forehead is visible. The overall color palette is soft, with pinks, oranges, and light greens. A large black square stamp is centered over the image, containing stylized Japanese calligraphy.

恋

2012.05

本作を無断転載、複製、Web上にアップロードする等の行為を固く禁じます